

歴史文化遺産フォーラム

【無観客開催】YouTubeLIVEによるオンライン開催

アドベンチャーツーリズムと 歴史文化遺産の活用



日時：令和4年2月13日(日)
13:00~16:15 (開場12:15予定)

会場：和歌山城ホール 小ホール
(和歌山市七番丁25番地の1)

募集：200名(事前申込み、先着順)
☆手話通訳あり ⇒ **無観客開催**

入場料：無料

■ 講演

『歴史文化遺産を活用したアドベンチャーツーリズム』

山下 真輝 氏 [JTB総合研究所主席研究員・
(一社)日本アドベンチャーツーリズム協議会理事]

■ 講談(創作)

『南方熊楠と熊野古道』四代目 玉田 玉秀斎 氏

■ ディスカッション

『持続可能な観光まちづくりおよび観光振興のための歴史
文化遺産の活用と保全にむけたツーリズム推進のあり方』

加藤 久美 氏 [和歌山大学観光学部 教授]

ブラッド トウル 氏 [(一社)田辺市熊野ツーリズムビューロー
プロモーション事業部長]

川口 浩司 氏 [奥ジャパン(株)ゼネラルマネージャー]

山下 真輝 氏 ※コーディネーター

視聴URLはこちら

<https://youtu.be/UyqXij0hgRM>



関西全域での新型コロナウイルスの感染
拡大状況を考慮し、無観客にて実施するこ
ととし、その様子をYouTubeでライブ配信す
ることに変更いたしました。

「アドベンチャーツーリズム(AT)」とは、「自然」「文化」「アクティビティ」の3要素のうち2つ以上で構成される旅行を言います。
(冒険旅行のことではありません。)

「AT」では、旅行者が地域独自の自然や文化をありのまま、地域の方々とともに体験し、自身の自己変革・成長の実現を目的と
します。そして、地域の経済・社会的な観点からサステナブルな効果をもたらし、その効果が地域の自然や文化を保護・活性化
することに貢献することを重要としています。

本フォーラムでは「AT」の考え方から、和歌山県の世界文化遺産、日本遺産そしてジオパークなどの自然遺産の活用や保存、さらには
観光客数にこだわる「量」の観光から、パンデミック後の「質」の観光への転換について考えます。

主催：関西広域連合 歴史街道推進協議会 文化庁地域文化創生本部
後援：和歌山県 和歌山市 (公社)関西経済連合会 (一財)関西観光本部
近畿日本鉄道(株) 京阪ホールディングス(株)
東海旅客鉄道(株) 南海電気鉄道(株) 西日本旅客鉄道(株)
阪急電鉄(株) 阪神電気鉄道(株)

写真提供：(公社)和歌山県観光連盟



出演者略歴



山下 真輝氏

JTB総合研究所主席研究員 (一社)日本アドベンチャーツーリズム協議会理事

観光による地域活性化のための計画・戦略の策定、人材育成、旅行商品開発を専門とする。観光を基軸とした地域活性化を進める地域交流プロジェクトをJTB本社で推進し、全国各地の観光振興に関わるプランニング・調査研究・旅行商品開発に従事。2017年にJTB本社日本版DMOサポート室長として全国各地のDMO形成に関わり、2018年4月より現職となる。近年は、スポーツツーリズム、アドベンチャーツーリズムの調査・研究を手掛ける。また、内閣府地域活性化伝道師として全国の観光振興政策を支援するなど、公職、要職を数多く務める。2020年より(一社)日本アドベンチャーツーリズム協議会理事を務める。



加藤 久美氏

和歌山大学観光学部 教授

クイーンズランド大学卒(PhD)。主な研究分野は、観光とサステナビリティ、コミュニティレジリエンス、環境倫理など。福島県飯館村・大熊町などでの復興支援を続けている。武蔵野大学しあわせ研究所教授、クイーンズランド大学(豪)客員教授、Global Sustainable Tourism Council理事、観光庁持続可能な観光アドバイザー、「日本版持続可能な観光ガイドライン」検討会座長といった公職・要職を数多く務める。主な著書にSharpley, R., & Kato, K. (2020). Tourism development in Japan. Themes, issues and challenges (Routledge); Kato, K. (2019). Gender and Sustainability - exploring ways of knowing: an ecohumanities perspective, Journal of Sustainable Tourism, Vol. 27(7), 939-956. などがある。



ブラッド トウル氏

(一社)田辺市熊野ツーリズムビューロー プロモーション事業部長

カナダ マニトバ州生まれ。和歌山県本宮町(現田辺市)に英語指導助手(ALT)として3年間勤務した縁で、2006年の田辺市熊野ツーリズムビューローの発足にあわせて国際観光推進員に就任、現在に至る。目的意識の高い外国人旅行者の誘客促進のため、また世界に開かれた質の高い持続可能な観光地を目指し、田辺市や熊野エリアの魅力発信と、地域と連携した受け入れ地のレベルアップ、主に欧米豪の個人旅行者を対象とした着地型旅行業に取り組んでおり、「熊野の魅力を世界に知らせたい」という思いで日々活動している。



川口 浩司氏

奥ジャパン(株)ゼネラルマネージャー

オーストラリア、メルボルンで観光経営学修士を取得後、約20年間インバウンド業界に従事。豪州のツアーオペレーターにて、多様な国籍のインバウンド団体手配の責任者を務め、2012年から奥ジャパン(株)の中心メンバーとしてソフトアドベンチャーという領域を早期より実践。オペレーション、商品企画・開発、マーケティング、熊野古道・中山道支店開設など様々なコア業務に責任者として携わる。



四代目 玉田玉秀斎氏

講談(創作)『南方熊楠と熊野古道』

高校時代、スウェーデンに1年間留学。その時受けた質問がきっかけで日本に興味をもつ。司法浪人時代にたまたま見つけた新聞の三行広告にて人生初めての講談に出会い、3カ月後、講談師になる。音楽とのコラボ講談(ジャズ講談)や即興講談(ググる講談)、英語講談などに挑戦し、海外公演も。2016年、上方の名跡・玉田玉秀斎を97年ぶりに襲名。和歌山地区のケーブルテレビZTV「ちょっといい和歌山」に出演など、和歌山でも活躍。FM大阪『天才的なバカになれ!』メインパーソナリティ。大阪日日新聞でも歴史物語を巡る旅を連載中。

応募方法 ハガキ・FAX・Eメール・協議会HPから下記の事項を明記してお申込みください。後日、参加証をお送りします。

応募先 〒530-0005 大阪市北区中之島2-2-7F
歴史街道推進協議会「歴史文化遺産フォーラム」係
FAX 06-6223-7234 Eメール event@rekishikaido.gr.jp



問合せ TEL 06-6223-7744 (平日10~17時)

和歌山城ホールアクセス

バスで お越しの場合

- JR和歌山駅2番バスのりばより県庁・和歌浦口・新和歌浦・医大病院・マリーナ・海南駅前ゆきに乗車→和歌山城前で下車
- 南海和歌山市駅1番バスのりばよりJR和歌山駅・医大病院・マリーナシティ・紀三井寺医大ゆきに乗車 →和歌山城前で下車

お車の場合

- 中央駐車場、北駐車場、城北駐車場(全て有料)をご利用ください。(駐車台数には限りがございます。)

アクセス詳細は▶ <https://wakayama-johall.com/access/>



【お願い】 ■発熱、咳、くしゃみ、全身痛等の症状がある方や体調に不安のある方は、ご来場を控えていただくようお願いいたします。 ■マスクの持参、着用をお願いいたします。会場入口に手指の消毒液を用意しておりますので、入場時に手指の消毒をお願いいたします。また、会場入口で検温をさせていただきます。 ■万が一、感染者が発生した場合、必要に応じて保健所等の公的機関へ個人情報を提供します。

歴史文化遺産フォーラム(令和4.2.13)申込書

FAX:06-6223-7234

■参加代表者の氏名

■電話番号 ()

■歴史街道倶楽部会員番号 ()

■住所 〒

■同伴の参加者氏名

(申込書1枚につき2名様まで)

()

()

※歴史街道倶楽部の方は()に会員番号をご記入ください

■歴史街道倶楽部入会案内資料

部 希望 (希望される方のみ部数をご記入ください)

[個人情報の取り扱いについて] 申込者から取得した個人情報は、歴史街道推進協議会で実施する業務に必要な範囲内で利用いたします。